

※今月のみ受注の書目です。

文芸評論 ご担当者さま

レーゼ・ドラマ

# 読む戯曲の読み方

久保田万太郎の台詞・ト書き・間 (2022年10月下旬刊行予定)

石川巧 (立教大学文学部教授) [著]

A5判上製 / 248頁 税込予価 5,500円 ISBN978-4-7664-2853-7 C3095

👉 ココに注目!

- ・万太郎は、自身の創作世界をどのように構築していったのか。
- ・万太郎の戯曲を多面的に分析し、その劇的世界を豊かに読み解く。

戯曲は小説・詩歌・批評などと並ぶ文学の主要ジャンルの1つであると同時に、俳優・劇場・観客といった演劇の基本的な構成要素ともされている。戯曲の言葉は、「読まれる」とともに「話される」ことを前提としている点において、常に生きた人間の身体性に迫ろうとするベクトルを内包している。

本書は、万太郎が自身の創作世界をどのように構築していったのかを、小山内薫らと始めた「古劇研究会」、小説と戯曲を溶解させたかのようなト書き、草創期のNHKラジオドラマへの深い関わりなどを通じて多面的に分析。万太郎の戯曲世界を豊かに読み解いていくものである。

**対象** 近代文学研究者、演劇関係者、万太郎作品の読者

**類書** 日本近代演劇史研究会編『20世紀の戯曲 日本近代戯曲の世界』(社会評論社)

👉 **主要目次、注文書を裏面に掲載!** **ぜひご確認ください!**

## 【主要目次】

序 読む戯曲（レーゼ・ドラマ）とは何か？

第一章 〈古劇研究会〉からの出発

第二章 〈見えざる劇場〉の系譜——木下杢太郎から久保田万太郎へ

第三章 方法としての読む戯曲

第四章 小説／戯曲の溶解——久保田万太郎のト書き

第五章 「大寺学校」論——はなし・かたり・うた

第六章 「ゆく年」論——「宮戸座」あるいはその陰翳

第七章 原風景としての黙阿弥——その受容と変奏

第八章 ラジオ・ドラマの季節

第九章 久保田万太郎と空襲

コラム（万太郎の原稿用紙）

初出一覧

参考文献目録

あとがき



ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		石川巧 著 レーゼ・ドラマ <b>読む戯曲の読み方</b> —久保田万太郎の台詞・ト書き・間 ISBN978-4-7664-2853-7 C3095	5,500 円	★★

★1つで「500部」を表します